郭通拖子

特別
へ13
3633
42

東京都立中央図書館
3633
42

郭通遊子

意氣之通語
胡蝶明之遊景

晝夜
火鉢引ケ四ツ時

昭和三十二年六月八日
宮川吳服寄贈

心者止妓穴タメよ三歩乃程の
朝よ四十面の懸となる胡四蝶
むさん男いけんと書ぬところへ
ゆの客人よ吉のくんせよ

今年
こがの乃原の
馬春

總目

○ひゑ孫りさ別とう
○うぶすなの生れ
○ゆきふたこと
○ちんりもれし
○ちのぶうゑ家男

難波町 裏河岸

廓通遊子

藍江作

○發端

爲親分がいふ色食い人の性ごろやうこのまざるゝんものまへ玉の表の底をきて仮くりと巻舌でいふうゝびゞ岡乃和尚も妙でゞぜへと乃刃のハをろゝうゝきのかゞ毒きで毒づて川井のあふかさきゆの男のよこうゝり唐天望もかつぬるのハゝと乃道けいせいまちんゝ白ゐれハ家沢町ふうゝひのりゝうゝ丑んさんを伝ずるもれわ

やうにの稽古のうべ〜あさ〜さのをあつ稽古おさまる
よぬこひいにのやの間誰ことめ付さうる名さうこと〜
是さよの付く〜こんるのうべ〜よのうる方へ〜と〜
ゆしれ分ゞちやれよ〜そう川うきよ法乃
こをやうるのうい遍照がうこのさうをこひてけい
せい冥のすき人らい星中の情をおこ〜ぬゞ
うれうきこうよの弁隅田のさうみうり〜と〜く
傾嬢冥の出〜よつうられ堀ふよこさよ雲い板メの
こゞこきて記と〜〜恋こよのゞう今戸の尾煙ゆす

まいのすひ付さうと行ゆまこう中れ町乃花ゆう
せい春れんいのゞきゆう〜ゆ〜と口ともむ雲客
行れべむさ〜やの行〜こひ観よ移つの〜れのこ
よう酒徒行りよう〜いつの夕乃〜きた金
の花をちしてい井出のお川もきり
ぬひうし〜うよ文れ田〜い田町仕へのこ
湯ちを引ゞゞ〜雅ゆを乳ゆおぎ行ゞ
てい世い〜い富神のかゞゞゞこゞゞ〜す
山やゞこう母のゞきゞ教ゞりのゆこゞよ

たゝ行いせの上たのかんだゝきに勝
づめのあり川をわたるまきのゝ山のゝ
とのゝ松ゝいまに坊がうゞれえでありし
うへのむらいろをこすうゞ川の月ふ
てゝこれこあらのゝ手ちふこゞゆゝいと
ゆゝ仁着ハ山をとゝのしゝ紅葉ハ
ゝのゝもゝ山ゝゝけゝのこうゞゝ家に
ひゝゝ母のこゝゝ見ゝゝゆふをゝ坊のゝ
ゝ家紅葉ゝ風雅をこゝ面

第八てゝゝ御八ゝゝ遠ゝゝゝゝ
ゝゝゝゝの表紙をゝゝゝといふゝゝゝ世を
御ゝけゝ世ゝのゝれのゝゝゝゝゝゝ
をゝゝゝれ中ゝゝ風ハ雲ゝのゝこゝゝ
特ゝれかゝゝゝちゝゝきぬゝの母ゝゝ
ゆめゝ叢ゝ月ゝゝゝゝゝのゝ
ゝのゝゝをゝゝゝゝゝゝの雄ゝゝ
世ゝゝゝ清ゝゝゝゝゝゝゝ猫の
ゝをゝゝゝゝゝゝの母ゝゝ

雇需
国政画

んうれ物ふことちとしのこひこれべタ戸のう
ゑ寝ようけ世の情をさごり世じいき世るの
世ふとちどらを多へまつこの紙よさうれ
しあん眠屏とと花時ふあめ今ゆ行ごうとふ
すぐこ東北ちゑ多ふちゑ世ぐうこの切こぎの
小とどふさこさどかこをぬひこ神ゑ一紙
さうのご乃弟てりめめりのゆこをかくゑぬ
ぐひをこふうけ初ゑ世うんのかこのある
ひ結をかくゑ世ちくふうちのゑすん

ちろ板屋の図ことひ始こあやまこうこ戸こてちゑ
うけの松ゑゑて舟のえのこどくをつこはくこのてちづこの蜘蛛
乃ゑうこにふこうにゑ世ゑのまつ
の古こぎの弟こん張こくこの中炉かこん棚ふ井ゑこう
ひふいこきあんとつふ月ゑがくこ唐つこえこうこふ色ひこめの粒
奇のすりものこうちしこ庫のすこふ宮こうくすんひのかこうちくこ
川ふのこうあれこゑの泡ゑこ
かゑりふのすこの梅り寿こうくこ
こちここうちちまちこあんのふこを
川けこちくこゑ世てここちろへ
宮ふこいふむすこうぶいゑこ乃うこ通くこッ
かこちゑのゑこんぐなまれバ行つこれぬとふ
うこつこきまぐ世ふのあつきもこゑぬ神へ
ゑすこの弟のこくへ行

のかそでたらうさうさのたらうひくちまをのくぐり
たかりのごとり をち川仕入のうすちんの四ひくらん申あるち
ろんふ風呂の主人のちんもりのくあと入かろうきつきんを
をりよまきつけたりつまみ[illegible]をとりけ 宗ふる
らんへごうごまをかをそう 宗ふる
ト云ふかうかをろんぐ
まをちりごとりけ これハ宗ふるさんかでつぶ伸みてい
抽そ〜いきふ〜そんを申一二ア行ぐんをさく
宗 あまをうの四ぐをうにきをとまを一行ろち
まをのうう行ハチシかうをい行ぐらを
始をひぐをいふをとぐをくぐつぐをく 宗 ろふを
ヒうまをなしのうう行を抽ハいをかをおを
をうへ 宗 ぢうを湯をふをまいをぐかぐ出のや
ををいふをそれをんにけ近ふをぐを素
中をを大をを左ぐををらををんををくを素をぐ
ぢいぐを用ふいをを手の行ハ男ぐをよくを内
ぐの 宗 今朝ハぢいぐをなをうちのめを
ムしを中を今湯ぢうを小釜ぐをぎうを行
一ツ始くのをををちをををつハ行中を
サア一ツぷくをんぐをすをうををを

てふ紙袋がうぢむがあり　サアおがりあるく
よりもしをそへて出す　宗　是は姉ぢ様ト菓子とくわ内古くさぐの菓子ちんぷんかんぷんを出す
これは作りてくうぢんおかしをいつてくれ
ぢぢとさんはけあつぢさとおく者菓
へをさんやしさきし姉ちゃ
ちゃ　ちんとまんづしてわが貝利あく大
てん通るのさ　宗　とさのまんちゃんも
こんぢめふのしてのけ名みさみが菓
ちゃをくまやしぢぢ　あんまりだやりぢで
どうと出してれ出ちゃ　これやせんトくすりちゃちまひ
ち　なるのさとくとたわせやせん　宗　とまふ
行ぢそくるの世界へ　宗　ちすび
この上ばい傾城ちゃ　ちゃびがちんくく吟味
のちうさ　丁とくるもちぢごぢく
さ出ちゃさくしあちゃ　宗　こうるあふ
面白くめづくしひ一中ぢくいまや
うんなちつく　宗　サウウてきがちゃ
ひさんくる浦さんさ　ち　コイハ　ひとくれ

を移ひへみぐ〜ひさぐをきれいぐ〜ざぐく
せふ繁むしさたい二条をつゝ移世と
をんちうの菓子でもあるとそむしされ乃
ゆゝ春いたるすさをきたいけまんものあ
けたゝいうとゆゝしひ移家をれふをき
ゆうるぐをとうふぐせくをとそれいをうと
菓ぐうりのんでもあんまりはれぐさ
行ぐさうをとうせ移く已行ぐ角へる
よりやせうトうゆくうゝんるうの男ぐ
ゆうす

ゆまぐいつぐ已をゝ行ぐをなゝんすぐをこ
百ゝうりぐ母せさぐつゝ家そのうち
やゝをのすゝまさゝけ家ひすゝ
ゝ一こ味せんをうりかこひひて古行ゆのさ母の
かさう付いこてぐうぐさトをのまゝふまうゝ
ぶ〜ねのうちこどのまうるこゝれぐこどれう
もるけちぐ〜の已ちゝ月をこ行げて移
こんどむうい町ぐ〜大まの行ゝんへうふぐさ
と家一日蛤を携くいうあう已やぐるゝ
をつゝるせくを移ゝるげけうく已ゝ花でゝるあ

それより今うゝ郭くいきり後ぞ蛙をつ
まゝくまゝみて扨どうの里のうちいよ
ゝさ 宮 とうく扨さ間りハわ里み柳の
トなるとも下のうるぎやすぢをもせくるつてる
うゝもふのあらこつのものとりつてきゝさ一さ出せいや見い
行うさるみせるもうぎ 宮 行ぎ ト外のちんきん大のゝまけこい
川へうゝ母ゝ貴塚ゝ京をゝんうゝもうぎトくゝのいひ
ゝぎゝ ゝんぎゝ ゝんゝみゝ ゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ゆ〜と 宗 めうなことのごぜ様今うかいとぬのうり
ゆ〜にうりもとてうどくろくろよんうどゆ
きろひいんていんまちにまちゆ〜と 已 フウ
それいまてふこ味せんのかいろうひをみとの
こりてといふあるさるんどさるのせるせうく 宗
のち孫人孫くでとしの孫くがまづ一とんりんじ
ゆせふとさるうき 已 こふりいとろ孫いさるのじ孫
已 コヤさういあくすじどごさると上ぶりむ
ゆふるあくごさんあるとあく 已 ゆ〜さ 宗 とんろいま
ゆ〜 已 已 ようごぜうこへせう 已 とんろの〜僕をうく
さうう 已 さうさく 已 こやく 三 わ孫ゆうのハイ
已 てめくとどふうの問〜〜だまろくうまと
ゆんりゆりまとこいや 三 ハイゆ〜とまうは
さけゆつみへとろてうくうまとろとびろの上の
きふ孫うつふ 已 どうするぞ 宗 とどふいきゆせふう
已 モウ何時ごろう 已 七つがまのいつといふ
日ざ〜ざ 宗 サアく仕〜をさんし 已 わろんもの
何れのて孫ゆ〜と半 きくてうとかぶりけ〜給海ゆ

こんぶやのくまひこ二郎にうけてゆうきの弟ましと上にきて情中抱へ
ぬりぐうひまへ抱りその刻〳〵きをけ〳〵くまろよ
ト抱ぬぢの男にいく付 宮 たくどこいく
ひらひらがうがう
たつりころりのハみこのこ
こもぐらひのぐうこ人へいちつまこく
かれば弟ろ石ハ〳〵しをを抱〳〵
ぬろゆいちうとこん〳〵ゆろ人へ
入りおふゆ〳〵りの〳〵宮〳〵ゆ
ト結のこ〳〵ゆこ〳〵結ましまえぬたつ口三人なこ
すぐらあこまりがつうぶりのつきんのうへふゆあぬこひの
りうかふり〳〵るいまこ男ぬこ
ふりこりこれい〳〵こすこうろこ
ぐけへいつこ 七 ちこつと
こ人 これぐころつこ

ころのこ抱ころひぐこよう入ろつゆりまこ
と さんりりあいぬ猫いの 七 ちこひきここまこ
かりこりふへどこの抱せこいぐこぐこりまこトつけ
宮抱宮ま これ世猫い世界ぐ一所ふいうよ 七
ちこおえ〳〵ぐりのおこ
ゆいや猫ぬ 足ハ口ころひてこふ
ト猫ぬこきこのかこ有 猫や抱りこんゆより
ゆりう抱ハ抱ハ抱 ぐるこまこふいこ
ちゆりまこ〳〵きこんひ
ぬこんうきここぐこ
ぬこ二猫こ〳〵こゆりま

七 扨もおこうぎりじゃ 娘 扨てもひとびと
よ 七 さかく後男へふくまれるの二階よく
女房 己惣さん三ツ扨まんさんいとこちの女の
をおりとれるさへしあいつそ口さ成
おうこうのさへしあ位方がござりますよ
己 さくとおひこんざ男の上じやなで
まゝ稼へ 女房 いつそ記ものよ 弓
らまれる男の上ちやまひ 家 己恨
とまうの家だりふかんそのうほざ

りれど縄町のうとけうのだそんさんどうのだ稼
七 うすう家稼へうすさこいつ家乃屋ちもぶく
ますせう よまくあるこれ三つ隠ちそ
さうづきあり隠れ三つ隠ちと 己 おたくこんごう
しあうあトいつあく とろ ようい〳〵つもりまりさト
ちうとぎます 弓 おしやおつ さまでその何〳〵ぐ
そういつてこれ稼へう 女房 とぐたさういつ
てきやちあまくれのちあびくとさかんりん
けいしやおつくまれのちとそこ家せんとこをつきもりん
弓 ヨワつこへはがかんつてごろのこうと
そんまりたゝごろのよ入らんもりま

しゐ宮さんきりひ丹ん
ぎうぎうでごぎうまん
ぎうぎうでごぎうまと
そうひコレ多へうく丹
おいとるとでのうたふこひつれもうとさ
ハる
つちやアさへうりゆ
るをせうちゆうるを
コレ丹ぎりくゆうでらう
丹ゆ丹ぎよくうせてぜ

七 あのぎとちよのとうぎ イヨきれい

七 ツイヅ丹れがいよ
うを去る乃夏も

るをちらしいたて

ゐむぎとゐるせい
ゐ たぶ七ぎうう〜むの
七 丹ゆ一つけあげや町ぐ
丹つるをぐ門へ入ます
ト丹つるぎ
ひざをく
つる なんぎるとよりるせへ
さ身をぎるでんの紙ゆそちらひ
りちとしとゐ合をゐるぐちいさゐ
そう紙やせんあまう〜
つる せんそうさんのゆう
門しゆうへい紙いよ

ちもつて抜きゐるせへ
ゐ こいんゐあゆいの
菓やを出しの
ト丹つるぎ
ゆんべ門つるいさん
ゐ 四へうとゐさけさ
ふむりゐるゆをいと
ト文こ結せんを
ゐ 金泥ふるる
縁ゆかい
まておか

こうんめいりやせふう 宗 已 物さん屋樣ふ
まやせう 女房 ちやへいつくゝゆゝまむ
らさきゆゝ毎てござりまし毎秋
已 そうさ 女房 ちんぞうさんぐをふくり
まつまや 七 ちらふんうくゝひと へい せう
ちく物さんうりふいゝませうゝ 已 ふ
川てもゝゝ秋いでまし 已 おま上り
のてんまじやあいゝ ト ちらくゝげへゝやの
三番せんふ間うゝ
清張 花 ハイよろしうござりまして 女房 スニナラ

物ゝゝいゝゝゝ毎りまし 宗 いうゝそぐ
毎ゝ秋ゝ 已 おつるゆゝあらゝでのまゝ
ちゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 女 おざうりゝとらゝゝ 已
ゆゝハトゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

須ヤ
居者

[illegible]

[illegible]

[illegible]

でゝ[illegible]こせさんのうの母のもひごろよ
ぶれてもわれゆをと 七 あどでとゝをあ
といつぐ扨れがあどいとうけふあるやと
宗 ようむどをいつむでえのちゆゝく
サアのまゆ行へうトいつまと初舎のざゝさまうゝ
ゆうつゝかゝうあゝあ関待のりのし
[illegible] 分房 モシ 之信さん
一つあいつゝきゆゝますせよ ヲヤ ゝるりさんいいつそ
まゝゝゝちゝそうぐ 宗 まどいんゝうる物
扨ゝへゝりさゝうぐゝをちんとさゝるせへとをめと

ゝゝゝむどをいつ扨ゝゝ[illegible]
ゝんずゝゝきてゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 之宗 ヲヤ 七さんゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ごんを 七 あ〜〜〜源氏の君はいらてとくアーと
いふ男〜〜〜〜〜〜さ 宮房 ほ 物もいふまんざ
物人様へとのくひのこるひ人さ る 者ふく
せう〜〜わいぜ 七 ど〜〜〜〜〜〜

にうの[illegible]つくゝハナウさんとヲトヲ[illegible]
[illegible]
[illegible]

さぞらよそのだあうをくむもの多をおいひ
なんー 已 コハむりゞ孫ゞ孫ゞしくそういふ世
界このうりのくらひふうとかうくの西く
ゆうしくき 云 それいうをふと毋のうくよ
さんと孫へ 已 をういふたう孫ひものごうう
こよひ一夜をどうぞ毋ぞ孫ものやと 言
よういろくあるものをおいくるんを今よひ
一夜ゞゞいゞくるんせんのうもうくらひきう
いせへ 已 きんひむりゞ孫ゞ孫ゞ毋いくるんう
ひうり孫ゞかくまていくくんなさんをの
わうゞいつそらひきうふのうゆをふあゞに
毋ゞくまようせうるかう毋つゞいのゞふ
くをんが毋ゞるふ 云 ようふうそれいゞうち
ゞゆいゞとうるき 已 毋ゞがゞそういつゞうゞ
ふゞゞうあくうりやせうヲ、をんくふるのふゞゞせへ
すトゞ孫ゞ孫ゞ毋ゞを 云 ナゼそんうちを毋むきるのんを
さむふゞんをトうをゞ孫ゞてゞくゞゞまうをかゞしをん
ーうをくゞうゞうをふゞんをんゞゞ毋ゆうーるん

ア孫うゑやイしゐゑうゆ世さげとこと世きごく
ぶぬが 已 ごごうごへ 与 ニアヤイとまい 已 いるる
せへく 与 ヤイせふ ナトゆちふ さとがこつ ア孫
かしくさんふ世いごうんて も秋のんりち
でい世りせんうごうぞ来く世くんうんし
已 十二月 まうりせなるる 与 ヨウ まうひ
うんせふ世ゑのん さん ふよ ちく孫くごごぞふ
ふくいひうしうゆ ん ゆさゆごうのふ姫う
うんぞあイいせふう ふ さひ孔ふ イとよ

已 ハテりのごふ ちるるさるのそれふのうのるゆん
まうの孫ひがていくふさゆて伺ごれよ 与 ツ
しふおさふうんし乳ますふへイとまいがトに伺ふあく
世りせ ひきーふ ふ ゆとごきこ ひうりく ふ
おいくんふ孔とりうまうしうの屋孔とりく 已 ア孫がさむい
孫 与 ふくして一ひのげいせう コレサ これをむとき
なんし 已 おめいごういふ乳ざ 与 ますひイ孔
モウトゆふしうん ナトりふ ナ孔 ありごば ハカケ きふ孔未孔ひくつまをと あと
うれくこひ孫の世ふうつとと世りんけ コロリン ワテンニヒチン
中のうることけへぶ ハウトのそうりのう
ごくくちうじのふくち言うくそれうとそかくくんを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

娼樓艶客篇

須磨や明石はとや東雲のあけやかすぐ告げてくる
と潮来ふしにうたうたのくるわの空よりまだ
ちく〳〵月うげも写まおあつめあさ白うげと抱ろく
きぬく抱ても別まとまもうくーゝせんとぐ死くらう
むとこうぐうつもうーまとくうんのつきんにたくへ
くとしれく内れ抱やゆびのおうめんふ姫さま
ふひとを都も只一ことで　まこ白きたまの中きんのさーき
抱こー一面の琴ハそんこ川のどくすーめぐーこの七人の宴風さーき
一ゝくとゝよこーこものかにどんこうちんこうちんこ三人

こひくこのあをうひてあうすくあかこのこ
こうひ弟あうぐこうひ一文書のこと抱くんの文　胡琴　まく〳〵弟この文人
宗よ　弟ゆーー弟ゆ　胡　うのあさうをぐつうゝ下まぐちが
上ハまぐちをつうを弟こひゝ比ぐゆうの弟ゆくを
ちゆゆ弟ゆくんゆゆくんちゆちゆぬーをかんさうら
弟ゆーひゝせん　宗　そうう抱まんがうくをうかう
まゝまハうよ　胡　ちんくゆゆ抱まゝまひなんーをうう
くのうをぬーくをうかんぐくう抱くうんーん今
ぬはくをつんくくさぐ今まぐの如ゆ元ゆくうが
くちゝせうそれくぬーゆくちんくゆくーゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

どナイーゑ通りごとのとまぬーの氣のもと
こうのんとせうにごうとまいせうふびん
とこうくきくあんたうん　宗　いりやア　胡
めりんまごひさ　胡　スンナラかくいくーイもと
トかもこのこどのかりひらりめんのむくさきの赤りいの絵
まさにあさきさむくうりりいくどうくそつとするわどの
ちこのーー兎ごんすのーー出ーうう行う中ーかくそうを　行ものの
ことくくあそこそうくあれうせくくをおけてまう
あいくんくきまとなんを　あいーひ物を
あんうんーー　胡　ヨヤとうしひぐれぞい
せうとうてあいぐくうんーー　行ものの次の方の絵造
とあうと造おーいてこ出

胡　あらぐくかイ　うてちきうちう　ひひ　ぐぬーーまとのんをけめん
うまあイせよコレあとうんーー　トホゆびのトたうすぐきたに　わどきまうの上たのせて
かくそうをたうてぐひちりんくうをおくうくうんーー　トかまれうくうくうをまりせまり金宗
きせうぐうくうそうの上をあう　血ほのはと要の血のうんうきのきせうたうりつけ
ほゆびの血うあうきうすぐくうくうくまきく
これでもうくうぐひうんうんとうん　宗　あれぐあや
まうくうこれい血ぎせうとうトいいの胡
うんートあうあはきくうひのさ　様に紙をおて　あ門うふー
かとうのうりんぐやんくうくひ　ひ　ぐうくうくうをとけうりさん
うまーうぐぞんと　胡　ごうぐぞくあ男まうん

うりゝふぞんと一向むごんとんとこんちくかうー
なんしまつくつの姿ときりくかんさが
もちくきせうおうう手カラリ

夢遊篇

一度この里にるとうとめの乳の減芳の婿ようこうく
今をつくつるへけーこがたるまつかんこうのあうう
すこ毎ふ胡ろうの色うのうう香ところうごこき
こうふんの後にこまぎよう梅のが寺まーねのつ
上ろをもくん発が行どうとよぶうもも耳ふつき焼

わさんをの色りんんんうまーく手ちの法蓋をこ
づこすんーぬん穴ふ陽入梅や虫づうのはやかべも
うつらいふ寺んくふあづけ一すこ乳ゆまうく
月のの中ふ乳ゝ晩りふ月いのれども月函
宮のうけうりありなまこに角ふのまれども水墓
月世ゆきあるの宮角おうけ甘いまこうのき
にあーべふとーしうぞーん病ここもいろ男のね
ふきう十年を孫ふゆびていきちふ二三年切そ
年ーとけい世のあんに身とうあ伝れべいろ男の

[illegible]

[illegible]

[illegible]

よくきそ申てんるゐ[illegible]
[illegible]
神の門[illegible]
[illegible]
もうるゐ[illegible]
[illegible]
家サレハ
と称れ祝い朋それいさゝかしてぬ[illegible]
くかしを申でるゐんを申りてがたるてやう
ま[illegible]それおかけのそをねのゑとゆうまく
いろ[illegible]せあこうされるゆうでさんを家それハ

すぐらいぐ[illegible]
申[illegible]
ぞ[illegible]朋いろそ[illegible]
くへ[illegible]
さとぬ[illegible]
せあ[illegible]
出[illegible]
てい[illegible]
のの[illegible]

[illegible]
くらべば 宗 ばれまてあくの[illegible]
[illegible]
[illegible]
一見てもうれをんねくとんりちがうとく
てみるねく 湖 ごとうもきまくしもいべんく
[illegible]
[illegible]
どうくわがうはぬ[illegible]

[illegible]
うりかけくまこいつ[illegible]
をんどもあるとうきをけてこんなとんの
四をきんりてあるいたとうたれか第月八七月
[illegible]
一日まくうう[illegible]
ばをんん 宗 さんりれねでこうすすのう
てあくのいふうすどうりあしうまくいつれ
ど[illegible]

[illegible]

胡 [illegible] 母やごろ イ

せてういつそ母やせるの[illegible]たわんおすくおぎよ

さんぐ[illegible]ちがもの[illegible]

ゆ[illegible]て母のゆ[illegible]るんかしてゆ虫るんを

あとごしくおいでるんとく 家 うちの母

らゆ[illegible]てうそ[illegible]と母のんぐ[illegible]

ぐと[illegible]まぐ今母ぐ[illegible]

てゆ[illegible]ぬく母れと[illegible]

くゆ[illegible]とうけてかしそう[illegible]くしてゆ[illegible]

ぐちのゆ[illegible]とせんまぐ今かんぐて[illegible]

らゆ[illegible]うくんゆれ[illegible]

の[illegible]

[illegible]

しゆんしそ[illegible]

[illegible]

のふ[illegible] 家 ゆ[illegible]

ちゆんしと母ゆ[illegible]

ゆのすぎぐんとちゆ[illegible]

ちんゆぐちゆかゆ[illegible]

いつまでいきるかはかりがたきこと
いへばなほ〻ものやとをもはんにはまことかんぜ
ことゆゑなれば人をもうぐるまだつ
かんしやどうことかをもはれば
かくごでもこのらまことのうもの
なほい 朋 ゆゑなくこの分をもつて世
をとはれどかくこれをつゝしまんとの事
にのぞんでふかくこれをいとせんとの事
をもつてらをそうぞにた
ばこんるのしるしなり 案 ユレサ

ばらをとりこびふすりもらをふうく
らゝはしらこのこゝろをふかくこれをつゝしまんとの事
をもつてらをそうぞにたばこんるのしるしなり
ゆゑなくこの分をもつて世をとはれどかくこれ
にのぞんでふかくこれをいとせんとの事
いつまでいきるかはかりがたきこと
いへばなほ〻ものやとをもはんにはまことかんぜ
ことゆゑなれば人をもうぐるまだつ
かんしやどうことかをもはれば
かくごでもこのらまことのうもの
なほい 朋 ゆゑなくこの分をもつて世
をとはれどかくこれ
にのぞんでふかくこれをいとせんとの事
をもつてらをそうぞにた
ばこんるのしるしなり 案 ユレサ

ばらをとりこびふすりもらをふうく
らゝはしらこのこゝろをふかくこれをつゝしまんとの事
をもつてらをそうぞにたばこんるのしるしなり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

門をうつ足ほそんぢらん　書肆

行くうと待まちなつかしきをかな

しき櫻木の花を咲うせまつ素うもの

乃風ゆ　ちるもちるもとちるのつゆ

寛まろうまと

九ゝ

門人千聲耳

青松亭ゝ

揮毫

難波屋
書籍
出版
高麗橋

U5434